

エリック・ソールハイム OECD開発援助委員会(DAC)議長 講演会 『開発協力の国際環境の変化とOECD・DACの役割、将来の展望』

この度、外務省及び政策研究大学院大学(GRIPS)開発フォーラムでは、エリック・ソールハイムOECD開発援助委員会(DAC)議長(元ノルウェー環境兼開発大臣)の来日の機会を捉え、同議長による講演会を開催いたします。近年、開発協力の国際環境が変化している中、OECD・DACはどのような役割を果たし、また今後果たすのか、今年1月の議長就任後、DACの議論を先導してきた同議長と意見交換を行う貴重な機会ですので、ぜひお誘い合わせの上、ご参加ください。

現在、国際社会は様々な開発の課題を抱えています。貧困が依然として大きな課題である一方で、感染症、気候変動、食料・燃料価格の高騰などの問題もあります。ミレニアム開発目標(Millennium Development Goals: MDGs)の達成期限を間近に控え、国際社会には一層の取組が求められており、また同時に2015年より先の開発目標の策定に向けた国際的な議論も行われています。

新興国の世界経済に及ぼす影響が急速に増大する中、これら諸国の開発協力における役割も増大しており、開発協力を、伝統的なドナー国中心の世界から、民間、市民社会、新興国といった、より広い開発主体として捉える動きが出てきています。このような新しい開発上の課題に対応するために、国際社会には新しいアプローチや資源が必要になっています。

DACはドナー諸国のフォーラムとして、50年以上にわたり、メンバー相互や途上国との意見交換・知識共有を行ってきました。このセミナーに引き続き懇親会が予定されています。将来の日本の開発協力のあり得べき姿を含め、率直かつオープンな意見交換を行う貴重な機会となりますので、奮ってご参加頂けますと幸いです。

日時: 2013年12月18日(水) 10時30分～12時30分(懇親会:13:30分迄)

会場: 政策研究大学院大学(GRIPS)1階 会議室1A&1B
<http://www.grips.ac.jp/jp/about/access/>

プログラム: **本講演会は全て英語で実施されます。**

モデレーター:大野 泉 政策研究大学院大学 教授

http://www.grips.ac.jp/list/facultyinfo/ohno_izumi/

- 10:30 開会のご挨拶 和田 充広 外務省国際協力局審議官
- 10:40 ソールハイムDAC議長講演
- 11:40 質疑応答
- 12:30 DAC議長との懇親会(軽食が提供されます)
- 13:30 イベント終了

登録: ご出席いただける方は、12月13日(金)までに、お名前・ご所属先を明記の上、GRIPS開発フォーラム・飯塚(m-iizuka@grips.ac.jp)まで、Eメールにてお申し込みください。(定員:100名程度:先着順となります)

連絡・照会先:(講演会の内容等) 外務省開発協力企画室 03-5501-8363(石田)
(登録・会場) GRIPS開発フォーラム 03-6439-6337 / m-iizuka@grips.ac.jp(飯塚)

エリック・ソールハイムDAC議長 (元ノルウェー環境兼開発大臣)

ソールハイムDAC議長は2005年からノルウェーの開発大臣を務め、2007年から2012年までは、環境兼開発大臣として活躍されました。大臣時代には、開発協力において紛争の防止の重要性を強調すると共に、開発の原動力として、資本、税、ビジネスに焦点を当てたほか、開発援助を外交政策全体の中で捉えるよう努められました。ソールハイムDAC議長の大任在任中にノルウェーのODA対GNI比は、世界最高水準となる1%に達しました。このほか、ソールハイムDAC議長は、2000年から2005年の間、明石康政府代表(スリランカの平和構築及び復旧・復興担当)と緊密に協力するなどし、スリランカ和平の担当特使として活躍されました。



(写真: OECD HP)